

平成26年土佐清水市議会第2回定例会12月会議審議期間日程表

◇ 審議期間 12月8日～12月24日 (17日間)

日次	月日	曜	会 議 別	開会時刻	議 事 内 容	備 考
第1日	12月8日	月	本 会 議	午前10時	1. 再 開 2. 審議期間の決定 3. 会議録署名議員の指名 4. 諸般の報告 議会事務局長 産業厚生常任委員会 行政視察報告 5. 議案の上程 提案理由の説明…市長 予算・条例等内容説明 …企画財政課長等 6. 選挙管理委員及び同補充員の選挙について 7. 散 会	総務文教 常任委員会 議会運営 委員会
第2日	12月9日	火	休 会			
第3日	12月10日	水	休 会	質疑・一般質問通告書の提出期限	午前11時まで	
第4日	12月11日	木	休 会			
第5日	12月12日	金	休 会			
第6日	12月13日	土	休 会			
第7日	12月14日	日	休 会			
第8日	12月15日	月	本 会 議	午前10時	質疑・一般質問	
第9日	12月16日	火	本 会 議	午前10時	一般質問	
第10日	12月17日	水	本 会 議	午前10時	一般質問・議案の委員会付託	
第11日	12月18日	木	休 会	午前9時		予算決算 常任委員会 総務文教 常任委員会
第12日	12月19日	金	休 会	午前9時		産業厚生 常任委員会
第13日	12月20日	土	休 会			
第14日	12月21日	日	休 会			
第15日	12月22日	月	休 会			
第16日	12月23日	火	休 会			

第17日	12月24日	水	本 会 議	午前10時	1. 委員長報告 2. 質疑・討論 3. 採 決 4. 各委員会の閉会中の継 続審査について 5. 議員派遣 6. 閉 会	議 会 運 営 会 委 員 会
------	--------	---	-------	-------	---	--------------------

平成26年土佐清水市議会第2回定例会12月会議委員会付託議案一覧表

◇ 予算決算常任委員会（26.12.17付託）

番 号	件 名
議案第69号	平成26年度土佐清水市一般会計補正予算（第7号）について
第70号	平成26年度土佐清水市水道事業会計補正予算（第2号）について
第71号	平成26年度土佐清水市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について
第72号	平成26年度土佐清水市介護保険特別会計補正予算（第2号）について
第73号	平成26年度土佐清水市指定介護老人福祉施設事業特別会計補正予算（第1号）について
第74号	平成26年度土佐清水市介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）について

◇ 総務文教常任委員会（26.12.8、26.12.17付託）

番 号	件 名
議案第76号	土佐清水市いじめ防止対策推進法施行条例の制定について
第78号	土佐清水市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について
第79号	土佐清水市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例の制定について
第80号	土佐清水市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
第81号	技能職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
第82号	土佐清水市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について
第84号	訴えの提起について
第85号	工事請負契約金額の変更について

◇ 産業厚生常任委員会（26.12.17付託）

番 号	件 名
議 案 第 7 5 号	土佐清水市子ども・子育て支援法施行条例の制定について
第 7 7 号	土佐清水市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
第 8 3 号	土佐清水市白山洞門展望足湯の指定管理者の指定について

平成26年土佐清水市議会第2回定例会12月会議議案等件名及び議決結果一覧表

◇ 今会議提出分（市長提出）

議案番号	件名	提出月日	議決月日	議決結果
報告 第11号	専決処分した事件の報告について（工事請負契約金額の変更について）	12. 8	—	—
第12号	専決処分した事件の報告について（和解及び損害賠償額の決定について）	〃	〃	〃
第13号	専決処分した事件の報告について（平成26年土佐清水市一般会計補正予算（第6号））	〃	〃	〃
議案 第69号	平成26年度土佐清水市一般会計補正予算（第7号）について	12. 8	12. 24	原案可決
第70号	平成26年度土佐清水市水道事業会計補正予算（第2号）について	〃	〃	〃
第71号	平成26年度土佐清水市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について	〃	〃	〃
第72号	平成26年度土佐清水市介護保険特別会計補正予算（第2号）について	〃	〃	〃
第73号	平成26年度土佐清水市指定介護老人福祉施設事業特別会計補正予算（第1号）について	〃	〃	〃
第74号	平成26年度土佐清水市介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）について	〃	〃	〃
第75号	土佐清水市子ども・子育て支援法施行条例の制定について	〃	〃	〃
第76号	土佐清水市いじめ防止対策推進法施行条例の制定について	〃	〃	〃
第77号	土佐清水市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
第78号	土佐清水市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
第79号	土佐清水市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃

第80号	土佐清水市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	12. 8	12. 24	原案可決
第81号	技能職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
第82号	土佐清水市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
第83号	土佐清水市白山洞門展望足湯の指定管理者の指定について	〃	〃	〃
第84号	訴えの提起について	〃	〃	〃
第85号	工事請負契約金額の変更について	12. 8	12. 8	〃
第86号	平成26年度土佐清水市一般会計補正予算（第8号）について	12. 17	12. 17	〃
第87号	土佐清水市長等の給与、旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	12. 24	12. 24	〃

◇ 今会議提出分（議員提出）

議案番号	件名	提出月日	議決月日	議決結果
市議会 議案 第11号	「持続可能な農業」と「豊かで暮らしやすい地域社会」の実現に向けた意見書の提出について	12. 24	12. 24	原案可決
第12号	2015年度予算（介護・子ども）の充実・強化を求める意見書の提出について	〃	〃	〃
第13号	人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定を求める意見書の提出について	〃	〃	〃

平成26年土佐清水市議会第2回定例会12月会議意見書議決結果一覧表

議案番号	件名	提出月日	議決月日	議決結果
市議会案 第11号	「持続可能な農業」と「豊かで暮らしやすい地域社会」の実現に向けた意見書の提出について	12. 24	12. 24	原案可決
市議会案 第12号	2015年度予算（介護・子ども）の充実・強化を求める意見書の提出について	〃	〃	〃
市議会案 第13号	人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定を求める意見書の提出について	〃	〃	〃

平成26年土佐清水市議会第2回定例会12月会議選任事項表

事 項	選任月日	方 法	人員	氏 名
選挙管理委員	12. 8	議長の 指名推選	4	横山與一 (土佐清水市下ノ加江813番地) 昭和24年8月8日生
〃	〃	〃		山下嘉彦 (土佐清水市足摺岬553番地2) 昭和20年9月28日生
〃	〃	〃		島崎康博 (土佐清水市清水140番地4) 昭和21年7月27日生
〃	〃	〃		弘畑徳治 (土佐清水市下川口744番地) 昭和21年7月27日生
選挙管理委員補充員	〃	〃	4	柳花 統 (土佐清水市加久見新町2番1号) 昭和16年3月21日生
〃	〃	〃		土居一彦 (土佐清水市元町11番6号) 昭和30年3月11日生
〃	〃	〃		谷前海雄 (土佐清水市中浜198番地9) 昭和17年11月14日生
〃	〃	〃		岡崎光正 (土佐清水市三崎1447番地2) 昭和28年11月13日生

平成26年土佐清水市議会第2回定例会12月会議質疑・一般質問通告一覧表

◇質疑

順位	質問者	質問内容
1	6番 森 一美君 (質疑)	<p>○議案第69号 「平成26年度土佐清水市一般会計補正予算(第7号)について」 (歳出) (1)2款2項2目 徴収費</p> <p>○市税還付金及び同還付加算金について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課税誤りが判明した経緯及びその件数は ・所管課はどこか ・いつ頃から間違っていたのか ・滞納者や差押え対象者が含まれていないか ・全ての精査を終了できたか ・なぜ過去10年分を還付するのか ・合計金額はいくらで、どのように処理する

◇一般質問

順位	質問者	質問内容
1	6番 森 一美君 (一問一答)	<p>1 市が発送する文書の頭書き文言について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○催告文書について ○文書の内容点検はどこが行っているか ○市民はあまり好ましく思っていないが
		<p>2 固定資産税の還付により国民健康保険税に影響しないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国保税の算定根拠の中に固定資産税額も含まれるが、その影響は ○どのくらいの還付になるか ○還付後の不足分はどのように補う
		<p>3 ジオパークを活用した研修を</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の良い物を探す屋外研修を導入 ○故事や言い伝えを聴取する活動を ○現地調査には教育関係者も同行を
2	7番 小川豊治君 (一問一答)	<p>1 健康長寿社会に向けた施策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各種がん検診の実態 ○受診率向上対策について ○健康長寿の延伸に向けた取り組み ○介護保険法の改正について ・本市の取り組み
		<p>2 市職員と地域コミュニティの活性化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市職員と地域活動との関わりについて ○地域活動への積極的な参加 ○継続した呼びかけを

2	7 番 小川豊治君 (一問一答)	3 未利用（遊休）資産の現状と有効活用について ○未利用（遊休）資産の状況 ○行政財産と普通財産の件数 ○土地建物の評価額は ○財務会計システムへの取り組み経過 ○今後の活用（計画）の見込み
3	8 番 西原強志君 (一問一答)	1 市直営の太陽光発電に伴う運営状況等について ○太田地区及び中浜地区の施設整備の現状について ○両施設の管理について ○施設整備にあたっての長期借入金の状況について ○事業実施に伴う収支状況について ○収益金の使途について 2 太陽光発電事業に係る土地造成工事について ○土地造成工事への市の対応について ○施行業者への対策と指導について 3 今後の保育所運営と施設管理の方向性について ○新清水保育所運営等について ○保育園児数の推移等について ○財政負担状況について ○「浦尻・旭・清水」保育所の施設管理の方向性について
4	3 番 細川博史君 (一問一答)	1 足摺海洋館について ○現施設の状況は（入館者数等） ○足摺海洋館あり方検討委員会の最終内容は ○今後の取り組みについて（スケジュール等） ○県立施設ではあるが、市としては、どのような計画を持っているのか 2 土佐くろしお鉄道について ○土佐くろしお鉄道の状況について （利用状況、補助金等） ○今後の見通しについて 3 集落営農の取り組みについて ○集落営農組織の現状 ○組織化したことでの目に見えたメリットは ○課題は（問題はないか） ○本市における今後の取り組み（将来像）は
5	2 番 岡本 詠君 (一問一答)	1 市街地地区内における太陽光発電事業について ○近隣住民への影響について ○これでいいのか？土佐清水 2 市斎場の指定管理者について ○現在の指定管理者に対する市民の声について ○アンケートの収集経路について ○行政指導はいつどのようにされているのか？ ○市民の立場になって取り組むべきでは？

5	2 番 岡本 詠君 (一問一答)	3 市の書類交付について ○総合窓口設置に伴い受付時間を延長してみても ○コンビニ交付の導入は？
		4 デマンドバスについて ○導入からこれまでの運行状況は？ ○路線と料金について ○運転免許自主返納支援制度について ○高齢者が安心して生活できる土佐清水へ
		5 ふるさと納税について ○これまでの推移は？ ○御礼に何かしているのか？予算は？ ○本来の在り方で良いのでは？
6	4 番 前田 晃君 (一問一答)	1 就学援助制度について ○「子どもの貧困」 ○就学援助の内容について ○就学援助の認定基準について ○就学援助の手続きについて
		2 教育費の父母負担について ○教育費の父母負担の実態 ○教育費の父母負担軽減について
		3 国保税について ○国保と社会保障制度について ○滞納者への対応について
7	1 番 田中耕之郎君 (一問一答)	1 地震津波災害対策 ○ヘリポートの整備について ○防災プログラムについて
8	5 番 浅尾公厚 (一問一答)	1 防災について ○2月から7月に行った防災懇談会について どのような結果が出たか？ ○備蓄品は水、食料以外に何があるのか？ ○昼間に地震が起きた時の対処は ○災害でその地区の校舎が無くなった場合にどう対処するの か？ ○津波火災の対処は？
		2 観光について ○観光課はなぜ無いのか ○大浜・松尾間を遊歩道にしては (県道から市道に移管された時)

9	12番 武藤 清君 (一問一答)	<p>1 教育問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道徳の教科化 <ul style="list-style-type: none"> ・問題点はどこにあるのか ○「35人学級見直し」 <ul style="list-style-type: none"> ・影響は ○議案第76号「土佐清水市いじめ防止対策推進法施行条例の制定」について <ul style="list-style-type: none"> ・そのポイントは？
		<p>2 地籍調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○進捗率は？ ○山林部分も視野に入れては
		<p>3 空き家対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特別措置法成立の中身は ○今後どう対処する

平成26年土佐清水市議会第2回定例会12月会議意見書（全文）

市議会議案第11号

「持続可能な農業」と「豊かで暮らしやすい地域社会」の実現に向けた
意見書の提出について

土佐清水市議会会議規則第14条の規定により、首題の件に関し次のとおり意見書を提出する。

平成26年12月24日

議長 永野裕夫 様

提出者	森 一美
賛成者	田中耕之郎
	岡本 詠
	細川 博史
	浅尾 公厚
	西原 強志
	仲田 強
	武藤 清

「持続可能な農業」と「豊かで暮らしやすい地域社会」の実現に向けた意見書

「農業・農協改革」については、平成26年6月24日に「規制改革実施計画」が閣議決定され、また、農林水産業・地域の活力創造本部において「農林水産業・地域の活力創造プラン」の改定が決定されました。この決定において、JAの事業やガバナンスの在り方、連合会の事業・組織形態、中央会の新たな制度への移行などについては、JAグループでの討議を踏まえて結論を得て、来年1月の通常国会への関連法案の提出を目指すこととされています。

JAグループはこれを受け、「持続可能な農業」と「豊かで暮らしやすい地域社会」の実現を目指して、自主・自立の協同組合としての自己改革の検討に着手し、全国のJAの意向把握を行うなど、JA・県域・全国域の議論をすり合わせるとともに、外部の有識者の意見も取り入れ、11月6日に自己改革案を取りまとめ、政府に提出しています。

しかし、11月12日に政府の規制改革会議・農業ワーキンググループから発表された「農業協同組合の見直しに関する意見」では、JAの改革案とは真逆の「中央会の一般社団法人への移行」「准組合員の利用制限の導入」「全農の株式会社化への速やかな合意形成」を強く要求するなど、6月の決定を大きく逸脱しており、地域実態と協同組合への理解のない内容の提言がされています。

地域を支えるJAグループの意見を無視した法改正が進むと、農業振興を産業振興の中心に据える当地域におきましては、生産者・地域住民が将来の展望を描くことは難しく、地方の衰退が危惧されるなど、多くの課題を発生させることにつながると考えられます。

したがって、政府の農協法の改正案の取りまとめにあたっては、これまで農業や地域社会に対して果たしてきたJAの役割を踏まえるとともに、同グループの自己改革の実現への決意を尊重していただき、地方の創生につながるような改正になることを強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年12月24日

土佐清水市議会議員 永野 裕夫

衆議院議長	町村信孝殿
参議院議長	山崎正昭殿
内閣総理大臣	安倍晋三殿
内閣官房長官	菅義偉殿
農林水産大臣	西川公也殿

市議会議案第12号

2015年度予算（介護・子ども）の充実・強化を求める意見書の提出について
土佐清水市議会会議規則第14条の規定により、首題の件に関し次のとおり意見書を提出する。

平成26年12月24日

議長 永野裕夫 様

提出者	武藤 清
賛成者	田中耕之郎
	細川 博史
	浅尾 公厚
	前田 晃
	森 一美
	小川 豊治
	西原 強志
	仲田 強

2015年度予算（介護・子ども）の充実・強化を求める意見書

介護保険制度については、保険給付として要支援1と2の高齢者に提供されてきた訪問介護と通所介護が、2015年4月から3年間かけて市町村事業への移行が進められます。

この見直しについては、多くの関係者および関係団体からは、地域資源や財政基盤による「地域間格差の拡大」や必要なサービスが提供されないことによる「要支援者の介護の重度化」および「介護労働者の処遇低下」などに関する不安が指摘されてきました。

こうした不安が現実のものにならないための施策の実施については、国会議論における厚生労働大臣答弁や法案採択にあたっての衆議院厚生労働委員会における附帯決議として採択されたところです。

2015年4月から本格実施が予定している子ども・子育て支援新制度については、必要な予算が確保されていないことから、保育の質の改善策として実施が予定されている保育士の配置基準の見直しや処遇改善および放課後児童クラブや児童養護施設等の改善が極めて不十分な内容となっています。

つきましては、介護保険制度については、地域間格差やサービス低下および福祉労働者の処遇低下を招くことなく、制度の充実をはかるとともに、子ども・子育て支援新制度については、保育の質を改善するために、政府に以下の対策を求めます。

記

1. 介護保険制度改正によって保険給付から市町村事業に移行された訪問介護と通所介護については、地域間格差やサービス低下および福祉労働者の処遇低下を招かないために必要な予算を確保すること
2. 子ども・子育て支援新制度の本格実施に必要とされる約1兆円の財源を確実に確保すること
3. 介護労働者及び保育士などの福祉人材の確保と処遇改善を進めるための予算を確保すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年12月24日

土佐清水市議会議長 永野 裕夫

参議院議長 町村 信孝 殿

衆議院議長 山崎 正昭 殿

内閣総理大臣 安倍 晋三 殿

厚生労働大臣 塩崎 恭久 殿

財 務 大 臣 麻 生 太 郎 殿

市議会議案第13号

人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定
を求める意見書の提出について

土佐清水市議会会議規則第14条の規定により、首題の件に関し次のとおり意見書を提出する。

平成26年12月24日

議長 永野裕夫様

提出者	武藤 清
賛成者	岡本 詠
	細川 博史
	森 一美
	小川 豊治
	西原 強志

人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定を求める意見書

日本は、世界第三位の経済大国であり、民主主義の成熟した国として、また、優れた文化を有する「おもてなし」の国として国際社会において高く評価されている。このことは、外国人観光客が年間1,000万人を超える現実を見ても明らかである。

現在、日本には在日韓国人をはじめとする200万人以上の外国人住民が居住しており、納税などの義務をはじめ地域社会に応分の貢献をし生活を営んでいるところである。

ところが昨年来、主に在日韓国人を標的としたヘイトスピーチが日本各地で頻繁に起こっていることに心が痛む思いをしており、とりわけ「朝鮮人みな殺しにせよ」「不逞鮮人追放」「大虐殺するぞ」「良い韓国人も悪い韓国人もどちらも殺せ」などというヘイトスピーチがあからさまに露出してきており、私たちは大変憂慮するところである。

ヘイトスピーチを行う団体は、在特会（在日特権を許さない市民の会）をはじめとするネット右翼や新興の右派団体で、繁華街で拡声器を使って怒声を飛ばしレイシズム的表現で憎悪を煽る彼らの一連の言動は、日本の社会問題として深刻化している。日本の各界においても常軌を逸した人種差別を憂慮し、規制を求める声が上がっており、2020年の東京オリンピックを控え、国際社会においても問題視されている。

在特会によるヘイトスピーチに対して、人種差別と断じた大阪高裁の判決が最高裁で確定した。

最高裁は、「在特会の主眼は、在日朝鮮人に対する差別意識を世間に訴えることにあった」と認定した高裁判断を支持したものであった。このことは、「排外主義は認めない」という世界共通の価値観を日本の司法も共有する姿勢の表れとみるべきだ。

よって、人種差別・民族差別を煽るヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定を強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年12月24日

土佐清水市議会議長 永野 裕夫

衆議院議長 町村 信孝 殿

参議院議長 山崎 正昭 殿

内閣総理大臣 安倍 晋三 殿

平成26年12月24日

土佐清水市議会

議長 永野裕夫 様

議会運営委員会

委員長 武藤 清

閉会中継続審査・調査申出書

本委員会は、下記事件について閉会中もなお継続して審査又は調査を要するものと決定したので、会議規則第111条の規定により申し出ます。

記

1 調査事件

- (1) 議会運営に関する事
- (2) 次期議会の会期、日程等に関する事
- (3) 議会の会議規則、委員会の条例等に関する事
- (4) 議会だよりに関する事
- (5) 議長の諮問に関する事

2 調査期間 平成27年土佐清水市議会定例会1月会議招集日前日まで

3 理由 効率的な議事進行と円滑な議会運営を行うため

平成26年12月24日

土佐清水市議会

議長 永野裕夫 様

総務文教常任委員会

委員長 仲田 強

閉会中継続審査・調査申出書

本委員会は、下記事件について閉会中もなお継続して審査又は調査を要するものと決定したので、会議規則第111条の規定により申し出ます。

記

1 調査事件

- (1) 総合企画及び総合調整に関する事
- (2) 行政組織及び行政事務の合理化に関する事
- (3) 広報・広聴活動及び統計調査に関する事
- (4) 行政情報化・地域情報化に関する事
- (5) 広域市町村圏に関する事
- (6) 開発公社に関する事
- (7) 人事行政に関する事
- (8) 防災その他危機管理に関する事
- (9) 市の財産に関する事
- (10) 建設工事等の指名、入札、契約に関する事
- (11) 予算、税その他財務に関する事
- (12) 交通安全対策に関する事
- (13) 環境衛生・公害対策に関する事
- (14) 資源・エネルギー対策に関する事
- (15) 救急業務及び消防活動に関する事
- (16) 選挙事務に関する事
- (17) 監査事務に関する事

- (18) 会計事務に関する事
 - (19) 学校教育に関する事
 - (20) 社会体育の普及・振興に関する事
 - (21) 文化財等の保護・管理に関する事
 - (22) 市民図書館，公民館，市民文化会館その他生涯学習に関する事
 - (23) 所管に係る施設の維持管理に関する事
 - (24) 他に委員会に属さないもの
- 2 調査期間 平成27年土佐清水市議会定例会1月会議招集日前日まで
- 3 理 由 市政に関する調査研究及び委員会活動の充実に資するため

平成26年12月24日

土佐清水市議会

議長 永野裕夫 様

産業厚生常任委員会

委員長 岡崎 宣男

閉会中継続審査・調査申出書

本委員会は、下記事件について閉会中もなお継続して審査又は調査を要するものと決定したので、会議規則第111条の規定により申し出ます。

記

1 調査事件

- (1) 農林業及び畜産業の振興対策に関する事
- (2) 市有林の維持管理に関する事
- (3) 農業土木・林業土木・水産土木に関する事
- (4) 鳥獣対策に関する事
- (5) 水産業振興対策に関する事
- (6) 地場産品の開発及び販売促進に関する事
- (7) 商工業の振興及び消費者行政に関する事
- (8) 観光振興対策に関する事
- (9) 都市計画・都市公園・区画整理に関する事
- (10) 公営住宅に関する事
- (11) 土地対策及び国土調査に関する事
- (12) 道路、橋梁、河川及び漁港・港湾に関する事
- (13) 建設残土処分場に関する事
- (14) 水道事業の運営に関する事
- (15) 人権施策・人権擁護・男女共同参画に関する事
- (16) 住民基本台帳、戸籍及び住民票の交付に関する事
- (17) 国民年金に関する事

- (18) 国民健康保険事業に関する事
 - (19) 高齢者の医療の確保に関する法に関する事
 - (20) 保健衛生に関する事
 - (21) 診療所の管理運営及び医療に関する事
 - (22) 高齢者の福祉に関する事
 - (23) 精神保健福祉法に関する事
 - (24) 介護保険事業に関する事
 - (25) 保健所等の運営整備に関する事
 - (26) 児童・母子・障害者の福祉・医療に関する事
 - (27) 生活保護法に関する事
 - (28) 社会福祉・更生援護に関する事
 - (29) 所管に係る施設の維持管理に関する事
- 2 調査期間 平成27年土佐清水市議会定例会1月会議招集日前日まで
- 3 理 由 市政に関する調査研究及び委員会活動の充実に資するため

議員派遣の件

平成26年12月24日

地方自治法第100条第13項及び土佐清水市議会会議規則第167条の規定により、次のとおり議員を派遣する。

1. 平成26年度 新議員研修

- (1) 目的 議会議員として必要とされる議会等についての知識や意識の向上を図ること
- (2) 派遣場所 高知市
- (3) 期間 平成27年1月9日
- (4) 派遣議員 岡本 詠、細川 博史、浅尾 公厚